（研）森林総合研究所
森林整備センター
東北北海道整備局

海岸防災林再生支援植樹活動に参加

東北北海道整備局は、平成２８年１０月２日（日）に、「岩沼潮除須賀松(※1)の森（宮城県岩沼市寺島字川向地区）」において、『海岸防災林再生支援植樹活動』に参加しました（主催：（公社）宮城県緑化推進委員会）。

『海岸防災林再生支援植樹活動』は、平成２３年３月に発生した東日本大震災によって被災した海岸防災林の再生のため、宮城県緑化推進委員会が県と協定を結び、平成 27 年度から推進している活動です。海岸防災林には潮風や飛砂などによる被害を防ぐ機能があり、地域環境を守る役割を果たしています。

当日は約１７０名の参加があり、スタッフから植栽方法についての説明を受けた後に、抵抗性クロマツコンテナ苗木（約１，５００本）の植樹を行いました。当整備局も地域貢献の一環として参加し（職員９名）、植樹活動に取り組みました。

ディプルを使用し、植穴掘り

植栽して土で締め固め

チップでマルチング

植栽は、まずディプル（植穴削孔器）を使用し深さ約３０cm 程度の植穴を作ります。次に、植穴へ苗木を植栽して土で固め、その周囲３箇所に固形肥料を埋め込み、最後に苗木を中心とした直径５０cm 程度の範囲をチップ（廃材）でマルチングする（覆う）という方法で植樹しました。

天候にも恵まれ、用意されていたすべての苗木を植樹することができました。
植樹終了後、設置された看板（写真：下中央）を中心に参加者全員で記念撮影を行い、閉会となりました。

今後も当整備局は、海岸防災林の再生に向けた活動へ参加していきます。

植え付けが完了した状況

活動の主旨が書かれた看板

センター職員の参加者

※1「潮除須賀松」とは、藩政時代に潮風の被害を除くために植えられた松林の総称